



きすみの

教育目標 『ふるさとからつなぐ 夢の種をまき 花開く来住っ子』

校 訓 【 かしく やさしく たくましく 】

☆スマホの使用を抑え、夢と希望を叶えよう☆

今年度の児童朝会は、運営委員会の児童が中心となり、川島隆太先生の夢と希望をかなえる脳科学 Short Seminar を全校生で見て、考える時間を設けています。

10月は、「スマホ・LINE 等のコミュニケーションアプリの使用時間と成績の関係」のグラフをもとにした内容でした。何気なしに私たちが使っているスマホは、1時間以上、LINE 等のアプリを使えば使うほど、悪影響を及ぼすことを伝えています。

小野市のホームページから、川島隆太先生の Short Seminar を閲覧することができます。ご家族で、ご覧になり、話をする機会を設けることができれば素敵ですね。

～児童の感想より～

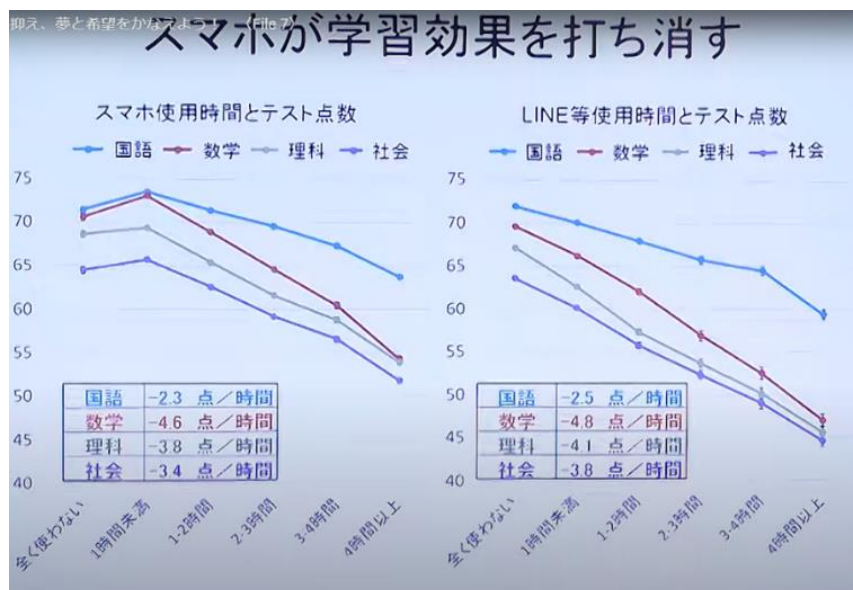
○私は、たぶんゲームを1時間くらいするけど、この動画を見て、私たちが当たり前のように使っているものに、私たちは知らない間に影響をされてしまっているということが分かりました。何も考えずに見ると脳に悪影響を及ぼします。1分1秒でも長く見ると成績が落ちていってしまいます。市内の小学校で1時間以内の使用のルールがあるのは、私たちのためということ

ことが分かりました。だからこそ、時間を決めてスマホやタブレットを使いたいです。皆さんもしっかり時間を決めて、その時間に終わるようにしていきましょう。

○ぼくは、ゲームなどの使用時間は1時間以内です。だから、悪影響はないけど、それ以上使うと勉強に悪影響があるので、避けたいです。スマートフォンなどを長く使用するほど、学習に影響がでます。また、コミュニケーションアプリも長く使うほど悪影響がでます。なので、スマホ、コミュニケーションアプリの使い方には注意しましょう。

○ライン、YouTube、ゲームを長い時間つかったら、成績がとっても下がると分かったので、1分1秒でも早くやめるといことが大事だと伝えたいです。

○今は、スマホを持っている人が多くなっていると思います。なので、使う時間を1時間以内にするという決まりを作ったり、その決まりを守って使ったりするようにしましょう。



☆ みんなで行こう！ 榊 浩平先生の講演会へ ☆

「子どもの脳を守る ～家庭でできる秘訣～」

日時 令和7年11月5日(水)18時30分受付 講演19時～20時

場所 エクラホール

※ 川島隆太教授講演会で、毎年、前頭前野のはたらきを視覚的に見る NIRS を担当されている 東北大学助教授 榊浩平先生から、直接、話をお聞きすることができます！

☆コミュニケーション能力を 高めるために☆

今月は、文化芸術鑑賞があります。劇場は、演劇を観るところ、音楽を聴きに行くだけではなく、交流の場、創造の場という役割もあるそうです。そこで、来住小学校においても、12日(水)、17日(月)、18日(火)にワークショップを行っていただきます。ねらいとして、2つあげます。

- ① 簡単なゲームやチームでの演劇創作を通して、自分の考えや気持ちを表出し、受容される体験を通して、自己肯定感や自己有用感を向上する。
- ② 自分とは異なる考え方や価値観を持つ他者と向き合い、意見をすり合わせながらチームで創作活動をする中で、コミュニケーション能力を高める。

11月の主な行事予定

1日(土)・2日(日)学童展	2日(日)きすみのビオトープ観察
4日(火)代表委員会 小野クリーンセンター(4年)	
6日(木)川島隆太教授講演会(5年)	7日(金)児童朝会・集会
8日(土)学習発表会	11日(火)プログラミング学習(5・6年)
コミュニティスクール委員会	見守り隊下校支援
12日(水)文化芸術鑑賞(1・2年)	13日(木)アスリート(ゴールボール)派遣
14日(金)振替休業日	17日(月)文化芸術鑑賞(5・6年)
18日(火)文化芸術鑑賞(3・4年)	25日(火)見守り隊下校支援
27日(木)小野特別支援学校居住地交流(1・2年)	28日(金)おの検定 委員会
28日(金)おの検定 委員会	29日(土)ハートフルラン記録会
	※12月1日(月) 振替休業日

振替休業日は、14日(土)

8日(土)学習発表会の振替休業日を10日(月)から14日(金)に変更します。14日(金)は、職員の出張が多く、児童の安全を確保するために、PTA 役員様と協議した結果、14日(金)へ変更しました。

ハートフルラン記録会への名称変更と願い

今年度から、前谷川マラソン大会をハートフルラン記録会としています。

学習指導要領では、長距離走という言葉が中学校で初めて出てきます。小学校は、陸上運動の領域ではなく、体づくり運動の領域として、一定の速さ、また、無理のない速さで、駆け足を学年に応じたおおよその時間で取り組むことを求められています。

そこで、来住小学校では、マラソンを通して忍耐力や向上心を養うことに加え、児童数が減っていることも踏まえ、どのように取り組むことが、よりよいかを考えました。

学校だより9月号でお伝えしましたように、身体づくりは違っても、人として平等であることを大切に、固定的な見方、考え方をしている自身に気づき、一人ひとりの固定概念を疑い、日常生活に隠れた偏見に縛られない生き方を理解し、取り組んでいるところです。そこで、男女に分けて順位付けをするのではなく、個人の記録を伸ばすことに重きをおくこととしました。

ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。